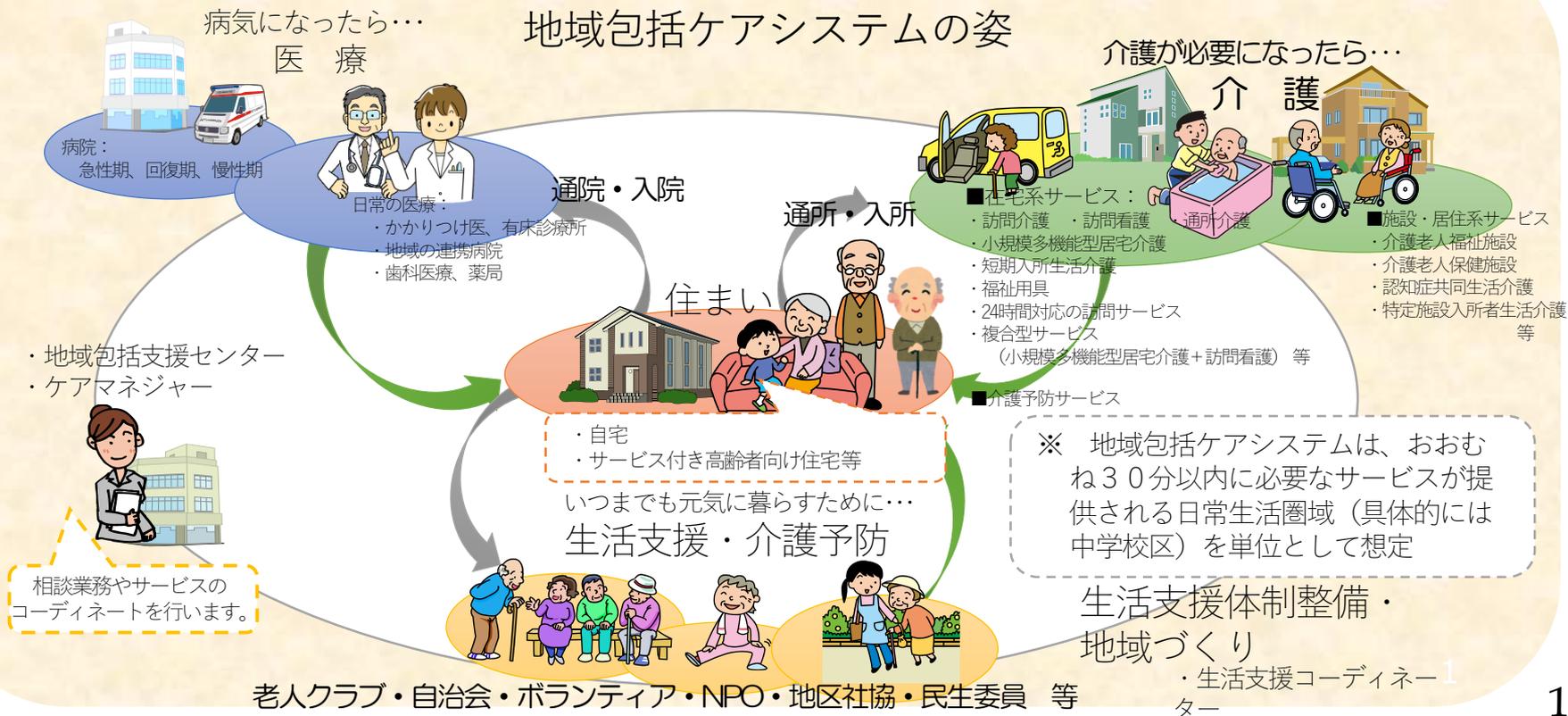


地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**

地域包括ケアシステムの姿



旭市地域包括支援センターの 設置状況

※旭市地域包括支援センターをH19年4月に設置。H30年6月から、旭市地域包括支援センターを東部・北部地区の2か所を増設。さらにR3年4月から中央地区を増設。



名称	旭市基幹型地域包括支援センター	旭市中央地域包括支援センター	旭市東部地域包括支援センター	旭市北部地域包括支援センター
担当地域	市内全域	旭地域 (中央小、富浦小、 矢指小学校区)	海上地域 (鶴巻小、滝郷小、 嚶鳴小学校区) 飯岡地域 (三川小、飯岡小学 校区)	旭地域 (豊畑小、琴田小、 干潟小、共和小学校 区) 干潟地域 (中和小、萬歳小、 古城小学校区)
高齢者人口 (R4.4.1現在)	20,048人	6,777人	6,382人	6,889人
設置運営	旭市	社会福祉法人 ロザリオの聖母会	社会福祉法人 旭市社会福祉協議会	社会福祉法人 旭福社会